

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

香春町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福岡県田川郡香春町

3 地域再生計画の区域

福岡県田川郡香春町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は1985年の15,245人を最後のピークに減少の一途をたどっており、10,861人（2015年国勢調査結果）まで落ち込んでいる。住民基本台帳によると、2020年7月末には10,753人となっている。国立社会保障・人口問題研究所によると、2045年には5,553人となり、2015年比で総人口が約51%となる見込みである。

自然動態について、住民基本台帳人口移動報告書の集計値によると、近年死亡数は平均で180人程度であるのに対し、出生数は減少傾向にあり、特に直近の2018年度では47人と最低値を記録し、144人の自然減となった。

本町の合計特殊出生率は、2002年から2006年までは、1.33～1.65の間で増減を繰り返していたが、2007年以降は増加傾向にあり、2009年以降は1.9～2.0前後の高い割合で推移し、2016年は1.95となっている。

また、社会動態について、転入数から転出数を差し引いた社会増減数は年々と減少幅を縮め、直近の2018年度にはついに増加に転じ、3人の社会増となった。ただし、2018年度の年齢別移動状況を見てみると、20代前半での転出超過が32人と著しく、特に福岡都市圏及び東京圏への移動が目立つ。また、男女別に見ると男性の方で20代前半の転出超過傾向が21人と際立っている傾向が認められる。

このように自然増減と社会増減を合計した人口増減をみると、自然減が基調となっていることから、人口は減少の傾向にある。

人口の減少は、上記のとおり、出生数の減少及び死亡数の増加による自然減や、本町の基幹産業であったセメント製造業の撤退に伴い、雇用の機会が減少したことで、若者が町外へ流出してきたことによる社会減などが原因と考えられる。

人口減少が進展すると、主要産業である農業の担い手が不足することによる農林地の荒廃、商工業の衰退によって事業所や商店等が減少し、生活利便性の低下が進み、地域コミュニティの維持が困難になるといった課題が生じる。その結果、特に高齢化が著しい中山間地域においては集落自体が消滅してしまうことも懸念される。

これらの課題に対応するため、下記のとおり、香春町まち・ひと・しごと創生総合戦略における5つの基本目標を本計画においても掲げた上で、雇用創出、移住促進、子育て・教育の環境づくり、住民主体のまちづくり等に効果的な取組を実施する。

基本目標1 やりがいのある「しごと」をつくる

基本目標2 人口流出を防ぐとともに、本町への新しい「ひと」の流れをつくる

基本目標3 若い世代の出産・子育ての希望を叶えるとともに、教育環境を整える

基本目標4 自らの課題を解決し、安心して暮らせる地域をつくる

基本目標5 情報発信力を強化して戦略を推進する

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2026年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規就業者数累計	0	62人	基本目標1
イ	人口社会増減数累計	0	▲50人以内	基本目標2
ウ	合計特殊出生率	1.95	1.70	基本目標3
エ	地域運営組織形成数	0団体	3団体	基本目標4
オ	S N Sのフォロワー数合計	3,610人	10,190人	基本目標5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

香春町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア やりがいのある「しごと」をつくる事業

イ 人口流出を防ぐとともに、本町への新しい「ひと」の流れをつくる事業

ウ 若い世代の出産・子育ての希望を叶えるとともに、教育環境を整える事業

エ 自らの課題を解決し、安心して暮らせる地域をつくる事業

オ 情報発信力を強化して戦略を推進する事業

② 事業の内容

ア やりがいのある「しごと」をつくる事業

・イに掲げる事業との連携を重視しつつ、「半農半X」や「里山暮らし」をキーワードとする本町ならではのライフスタイルに合致した魅力ある「しごと」づくりを行う。

【具体的な事業】

- ・農林業の振興
- ・稼げる観光への転換
- ・新規進出・創業支援の推進 等

イ 人口流出を防ぐとともに、本町への新しい「ひと」の流れをつくる事業

- ・香春町移住・交流の拠点「採銅所駅舎内第二待合室」を中心とした移住促進策と住む場所を確保するための取組を一体的に推進する。
- ・特に住環境の整備にあたっては、ウに掲げる事業との連携により、子育て世代の人口確保を重視する。

【具体的な事業】

- ・移住の促進

- ・住環境の整備 等

ウ 若い世代の出産・子育ての希望を叶えるとともに、教育環境を整える事業

- ・単に出産・子育て分野における施策の充実にとどまらず、教育分野の充実までを射程に入れたトータルな子育て環境の魅力化を目指すことにより、子育て世代の人口確保及び出生数の増加を図る。
- ・出産・子育て分野においては、既存の子育て施策の充実強化を施策の軸とし、妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目のない支援を実施する。
- ・教育分野においては、義務教育学校「香春思永館」の開校（2021年4月）に伴う新たな教育環境の整備・充実により、子育て世代の流入促進・流出防止を図る。
- ・イ及びオに掲げる事業との連携を重視し、本町での子育てライフのイメージづくりを推進する。

【具体的な事業】

- ・出産・子育てに対する経済的負担の軽減
- ・子育て環境の整備
- ・教育環境の充実 等

エ 自らの課題を解決し、安心して暮らせる地域をつくる事業

- ・学校再編に伴う小学校の廃校を契機に、地域住民が各小学校区の未来を考えている場の提供を皮切りに、住民主体のまちづくりの実現に向けた支援を継続していきながら、地域運営組織の形成を目指す。
- ・将来にわたって安心して暮らせる地域とするために、最適な地域公共交通の実現を目指す。

【具体的な事業】

- ・住民主体のまちづくりの推進
- ・地域公共交通の充実 等

オ 情報発信力を強化して戦略を推進する事業

- ・総合戦略の全ての基本目標を強力に推進していくため、町内外への情報発信を積極的に行う。
- ・ただ闇雲に発信するのではなく、ターゲットとしている層に情報が着

実に届く手段や手法を選択し、効率的かつ効果的な情報発信を目指す。

- ・総合戦略の各種施策の発信にあたっては、施策ごとバラバラに行うのではなく、その狙いが一致する施策同士を連携させ、それらが目指している本町での暮らしのブランドイメージが伝わることを重視する。

【具体的な事業】

- ・情報発信力の強化 等

※なお、詳細は第2期香春町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

105,000 千円（2020 年度～2026 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月から8月にかけて外部有識者で構成する「香春町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、速やかに香春町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2027年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2027年3月31日まで